

目次

刊行に寄せて	i
編集にあたって	ii
例言	iv
凡例	v
目次	vi
挿図目次	xii
表目次	xxi
写真目次	xxii

第1章 立川市域の環境史

第1節 立川市域の地形・地質	2
(1) 立川市域の地形・地質の概要	2
(2) 上総層群 —立川市域の段丘群の基盤—	3
(3) 武蔵野段丘2面 (M2面)	4
(4) 立川段丘面群	5
(5) 沖積低地	6
(6) 関東ローム層の特徴	6
(7) 武蔵野ローム	6
(8) 立川ローム	7
(9) フラッドローム	8
(10) Tc2面と立川断層	10
(11) 湧水との関係	14
(12) 立川市域におけるボーリング調査資料の解析	14
第2節 先史時代における武蔵野台地の古環境とその変遷	22
(1) 第四紀の古気候の変遷	22
(2) 先史時代の武蔵野台地の古環境分析の事例	24
(3) 花粉分析のデータから見た先史時代の古環境の変遷	27
(4) まとめ	34

第2章 立川市域の考古学

第1節 立川市域の地勢と遺跡の立地	38
(1) 立川市域の地勢	38
(2) 立川市域の遺跡と立地	46

第2節	立川市域の遺跡と調査の歴史	47
(1)	立川市域における考古資料の採集と紹介の始まり	47
(2)	旧石器時代～縄文時代草創期の遺跡と調査	49
(3)	縄文時代早期～中期の遺跡と調査	53
(4)	縄文時代後期～弥生時代の遺跡と調査	55
(5)	古墳時代の遺跡と調査	56
(6)	奈良・平安時代の遺跡と調査	57
(7)	中・近世以降の遺跡と調査	59
第3節	旧砂川町地区の遺跡	61
(1)	西砂川遺跡	61
(2)	殿ヶ谷新田遺跡	61
(3)	松中ツ原遺跡	65
(4)	天王橋B地点遺跡	65
(5)	上水向遺跡	68
(6)	宮ノ橋遺跡	69
(7)	大山道東遺跡	69
(8)	川越道西遺跡	71
(9)	観音寺原遺跡	74
第4節	柴崎町地区の遺跡	75
(1)	大和田遺跡	75
(2)	下大和田遺跡	89
(3)	普濟寺遺跡	91
(4)	立川市 No.12 遺跡・No.13 遺跡・No.16 遺跡	93
(5)	都史跡立川氏館跡	97
(6)	立川市 No.21 遺跡	100
第5節	富士見町地区の遺跡	102
(1)	台遺跡・台の下遺跡・立川市 No.22 遺跡の概要	102
(2)	台遺跡・台の下遺跡・立川市 No.22 遺跡の調査	105
第6節	錦町・羽衣町地区の遺跡	106
(1)	向郷遺跡の概要	106
(2)	向郷遺跡の調査史	112
(3)	向郷遺跡の時期別変遷	123
第3章 先史時代の編年		
第1節	先史時代の考古編年	136
(1)	先史時代の時代区分	136

(2) 旧石器時代の編年	136
(3) 縄文時代の編年	138
(4) 弥生時代・古墳時代の編年	142
第2節 多摩地域と立川市域の先史時代	145
(1) 更新世の石器文化 —後期旧石器時代から縄文時代草創期—	145
(2) 多摩地域の縄文文化 —早期・前期—	149
(3) 多摩地域の縄文文化 —中期縄文文化の発展と終息—	152
(4) 弥生時代・古墳時代の多摩地域と立川	158
【付編】用語解説	161
第4章 時代史1 更新世の石器文化 —旧石器時代・縄文時代草創期—	
第1節 旧石器時代の遺跡	168
(1) 向郷遺跡第17地点	169
(2) 向郷遺跡第22地点	169
(3) 向郷遺跡第25地点 (たましん事務センター地点)	169
(4) 向郷遺跡第26地点 (市営錦町住宅地点)	170
(5) 向郷遺跡第27地点	177
(6) 向郷遺跡第30地点	178
(7) 向郷遺跡第34地点	182
(8) 立川市 No.21 遺跡第1地点	186
第2節 旧石器時代～縄文時代草創期の石器	187
(1) 掲載資料について	187
(2) 資料の内容	187
(3) 資料の位置付け	190
第5章 時代史2 縄文文化の形成期 —縄文時代早期・前期—	
第1節 縄文時代早期・前期の柴崎町地区	194
(1) 大和田遺跡第11地点 (都営立川柴崎町四丁目アパート地点)	196
(2) 下大和田遺跡第3地点	210
(3) 大和田遺跡第21地点	210
(4) 都史跡立川氏館跡第4・5・20・38地点	210
(5) 普濟寺遺跡第24地点	214
(6) 立川市 No.21 遺跡第1地点	214
第2節 縄文時代早期・前期の向郷遺跡	215
(1) 縄文時代早期初頭 (撚糸文系・押型文土器)	216
(2) 向郷遺跡第28地点	218

(3) 向郷遺跡第 30 地点	219
(4) 向郷遺跡第 34 地点	221
(5) 向郷遺跡第 35 地点	227
(6) 向郷遺跡第 37 地点	228
(7) 向郷遺跡で確認された陥し穴遺構	231

第 6 章 時代史 3 中期縄文文化の時代 —縄文時代中期—

第 1 節 大和田遺跡と向郷遺跡の編年対比	240
第 2 節 縄文時代中期の柴崎町地区	248
大和田遺跡第 1 地点	250
大和田遺跡第 3 地点	258
大和田遺跡第 4 地点	272
大和田遺跡第 12 地点	280
下大和田遺跡第 6 地点	288
大和田遺跡第 11 地点 (都営立川柴崎町四丁目アパート地点)	290
普濟寺遺跡第 13・15・16 地点	296
普濟寺遺跡第 37 地点	303
第 3 節 縄文時代中期の向郷遺跡	304
(1) 向郷遺跡北地区	306
向郷遺跡第 25 地点 (たましん事務センター地点)	307
向郷遺跡第 90 地点	317
向郷遺跡第 40 地点	319
向郷遺跡第 22 地点	326
向郷遺跡第 29 地点	333
向郷遺跡第 14 地点 (水道局地点)	337
(2) 向郷遺跡南東地区	339
向郷遺跡第 10 地点	340
向郷遺跡第 28 地点	341
向郷遺跡第 30 地点	347
向郷遺跡第 34 地点	353
向郷遺跡第 37 地点	357
(3) 向郷遺跡南西地区	364
向郷遺跡 3-a 区 第 26 地点 (市営錦町住宅地点)	366
向郷遺跡 3-b 区 第 51・52・56・59・99・109・110 地点	401
向郷遺跡 3-c 区 第 57・94・118 地点	414
向郷遺跡 3-d 区 第 23・27 地点	423

第4節 向郷遺跡で発見されたその他の資料	428
(1) 向郷遺跡竹内勇貴氏寄贈資料	428
(2) 東京都立国立高等学校旧蔵の考古資料	446
(3) 立川市立立川第三中学校構内発見の敷石住居跡(向郷遺跡第3地点)	450
(4) 向郷遺跡第4地点出土の土器	451
(5) 向郷遺跡第20地点出土の土器	452
(6) 向郷遺跡第18地点出土の土器	453
第5節 大和田遺跡第5地点で出土した土器	454
第6節 粕谷正夫氏採集資料	458
(1) 採集地点	458
(2) 資料	458
(3) 資料の特徴	461
第7章 時代史4 初期農耕社会の時代 一弥生時代・古墳時代一	
第1節 立川市域で発見された弥生土器	468
第2節 立川市域の古墳時代	470
(1) 多摩川中流域の古墳時代	470
(2) 古墳の伝承がある塚	474
(3) 立川市域の古墳	477
(4) 古墳時代の出土遺物	484
第8章 自然科学からみる先史時代の立川	
第1節 縄文土器の種実圧痕分析	492
(1) はじめに	492
(2) 圧痕分析の資料と方法	493
(3) 圧痕分析の結果	494
(4) 竹内資料と大和田遺跡で確認された種実	497
(5) おわりに	501
第2節 胎土分析による土器の産地分析	504
(1) 向郷遺跡出土縄文中期土器(竹内勇貴氏寄贈資料)の胎土分析	504
(2) 大和田遺跡第4地点出土土器の胎土分析	513
第3節 蛍光X線分析による黒曜石産地分析	518
(1) はじめに	518
(2) 資料	518
(3) 産地分析の方法	519
(4) 分析の結果	521

(5) 第25地点出土黒曜石石核の位置付け	522
第4節 古墳の地中レーダー探査	525
(1) 探査の経緯	525
(2) 発掘せずに調べる方法	525
(3) 地中レーダー探査の成果図	526
(4) 地中レーダー探査によるNo.13遺跡の調査	527
(5) 見えてきた古墳群	530

第9章 埋蔵文化財行政と普及活動

第1節 文化財行政の始まりと発掘調査	532
(1) 近代における考古資料の採集と報告	532
(2) 立川市文化財保護条例の制定と文化財調査の始まり	533
(3) 大和田遺跡第1地点の調査と史跡指定	538
(4) 条例制定後の発掘調査と埋蔵文化財行政の整備	540
(5) 黎明期に活躍した人びと	542
第2節 文化財の周知活動と刊行物	547
(1) 史跡の指定と周知活動	547
(2) 刊行物による文化財の紹介	551
第3節 文化財の展示活動と資料館の建設	557
(1) 立川市歴史民俗資料館建設以前の展示活動	557
(2) 立川市歴史民俗資料館建設までの紆余曲折	559
(3) 展示構成案の変遷と展示内容	568

【挿図・表・写真 出典一覧】

挿図 出典一覧	582
表 出典一覧	592
写真 出典一覧	593
執筆者および執筆担当	599
協力者・協力機関一覧	599
市史編さん関係者一覧	600